

## 平成 16 年度第 1 回県レベル障害者雇用・就業支援ネットワーク会議 会議録

日 時：平成 16 年 5 月 20 日（木）14：00～

場 所：兵庫県農業共済会館 4 階 第 1・2 会議室

出席機関：21 機関・28 名（1 機関・2 名欠席）

### 1. 開 会 司会進行：事務局 寛能力開発部長

資料の確認：資料の会議の流れの一覧表を参照のこと

第 1 回県レベルネットワーク会議次第、参加者名簿（3 ページ）

県雇用就業課-1：平成 16 年度障害者雇用・就業支援事業について（2 ページ）

-2：平成 15 年度実績報告（11 ページ）

神戸障害者就労推進センター：神戸障害者就業・生活支援センターの開設（3 ページ）

総合リハ能力開発課（事務局）：障害者専門無料職業紹介業務（2 ページ）

総合リハ能力開発課（事務局）：ジョブコーチ養成事業日程（4 ページ）

総合リハ能力開発課（事務局）：障害者雇用・就業支援ネットワーク事業日程（1 ページ）

兵庫労働局-1：平成 16 年度障害者雇用対策業務運営計画（4 ページ）

-2：障害者雇用促進セミナーのお知らせ（3 ページ）

-3：特例子会社設立に向けてパンフ（1 冊）

連合兵庫：連合兵庫の災害ボランティア活動の方向性（3 ページ）

兵庫県社会就労センター協議会：知的障害者短期研修事業報告（1 ページ）

兵庫障害者職業センター：業務案内（2 ページ）

兵庫県障害者雇用促進協会-1：障害者雇用月間キャンペーン（2 ページ）

-2：アピリンピックパンフ（1 枚）

県能力開発課：障害者委託訓練（2 ページ）

県障害福祉課：障害者しごと支援事業・施設外授産モデル事業（5 ページ）

精神保健福祉センター-1：センター紹介パンフ（1 枚）

-2：ひょうご職親会だより第 14 号（1 部）

-3：社会適応訓練事業研修会兵庫大会案内（1 部）

県教育委員会：平成 16 年度 YU・らいふ・サポート事業

総合リハ能力開発課（事務局）-1：ネットワークホームページ

-2：スワンベーカーリー K O B E オープン

-3：きょうされん第 27 回全国大会 in ひょうご

-4：平成 16 年度第 1 回自閉症協会兵庫県支部但馬ブロック療育セミナー

-5：障害者の就労支援に関する厚労省内会議について

-6：情報誌第 6 号

## 2. 挨拶 県産業労働部雇用就業課 川村参事

多様な支援を必要とする障害者の雇用、自立支援に向け、幅広い関係機関の協力のもと、この障害者雇用・就業支援事業も3年目を迎え、定着しつつある。景気回復の兆しは見えているとはいうものの、情勢は一進一退で、雇用はまだ厳しい。雇用率1.7%、未達成企業47.6%と半分が達成していない。しかし雇用制度上において除外率の10%カット、将来的には廃止の方向により雇用増が期待できる。障害者雇用にあっては、保健・福祉と労働の連携、総合的支援、共通認識を持つことが重要である。昨年度は、障害者雇用・就業支援ネットワーク会議のメーリングリストならびにホームページの開設、神戸地域における居場所「ドリーム」の開所など成果が上がっている。今年度は、会議の目的・趣旨を更に具体のものにして行きたい。少し前までは、障害者の事は福祉は福祉、雇用は雇用であったが、福祉から雇用へとといったように変化する中、雇用一辺倒でなく多様な雇用・就業の場の提供や一方向だけでなく双方向への対応など、このネットワークが有効であると考え。今後とも、各関係機関のご理解・ご協力をお願いしたい。

また、報告事項として、4月に神戸障害者就労推進センターが県下で2番目の障害者就業・生活支援センターとして指定できた。さらに、総合リハセンターと神戸障害者就業・生活支援センターの障害者専門無料職業紹介所が設置されたことを報告する。従って、今回より、神戸障害者就業・生活支援センターが県レベルネットワーク会議の構成機関として参加となる。

## 3. 議題

### 議題(1)

- 1) 雇用就業課：平成16年度障害者雇用・就業支援事業総括説明 (資料)
- 2) 神戸障害者就業・生活支援センター：補足説明 (資料)
- 3) 県経営協：就職者364名中5名が障害者。登録者1000名中、障害者は30~40名。障害者の方にどういうことができるのかということを考えている。情報交換の方法の検討を進めている。
- 4) 事務局：神戸・淡路地域のジョブコーチ養成研修が6/25から開始になる。受講者は、精神関係の希望が多い。7/9は紀南障害者就業・生活支援センターの北山所長を講師に迎えている。これだけの受講も受け入れるので、希望者は連絡を。また、今年度から、修了者の登録制を導入したいと考えている。 (資料)
- 5) 事務局：無料職業紹介所「ワークサポートプラザみらい」5/1開所、案内パンフレット(案)、ご意見があればいただきたい。自治体が行う無料職業紹介所は支援対象の範囲を限定して行う。従って、こちらの場合は、総合リハで支援を受けている方、求人求職ともに県内に限る。なお、緊急雇用で支援員を2名配置している。

議題(2) 県労働局より平成16年度障害者雇用対策業務運営計画 (資料 -1)

1) 障害者雇用の現状 (資料 -1 p-1)

資料の冒頭にあるように、平成15年度を初年度とする国の「障害者基本計画」に基づいての「重点施策実施5カ年計画」が示され、平成19年度までのハローワークの年間障害者就職件数3万人、平成20年度障害者雇用実態調査で雇用障害者数60万人とするという具体的な目標数値が設定された。兵庫労働局においても平成19年度までの年間障害者就職件数を1300人、平成20年度障害者雇用実態調査で雇用障害者数を24000人するという数値目標を設定していたが、幸いなことに、兵庫県における平成15年度年間障害者就職件数は1278名(H14年度1166名、前年度比112人増の9.6%アップ)と、計画で言えば、平成18年度の目標1270名を既に超える実績を残すことができた。全国を見ても目標の3万人を既に上回っており、前年度比16%アップという実績を残している。理由として考えられる事は、ノーマライゼーションということが浸透し、日ごろからの各関係機関の皆様のご協力の賜物であることはいうまでもないが、昨年の6-1報告、除外率の10%縮小、未達成企業の開示に反映されていると考えられる。10%の縮小により対象人数は18000人×1.8%で320名の雇用が見込まれる。大企業を中心に不足数の多い企業への取り組みとして、兵庫労働局としては、特例子会社設立を推進したい。4/1 アパレルメーカーが特例子会社を設立した。

2) 障害者雇用促進セミナーの開催(神戸と姫路の2箇所) (資料 -2)

3) 実施する対策: ・合同面接会の回数増

- (資料 -1)
- ・求人開拓員 6名 8名に増
  - ・トライアル雇用事業の拡充 100名 140名枠(常用への移行多)
  - ・ジョブコーチ 15名 18名に増
  - ・障害者就業・生活支援センターの増設
  - ・ジョブガイダンス事業 3箇所 4箇所に増(明石・加古川)

議題(3) - 1 各機関からの情報提供

1) 連合兵庫: 連合兵庫の災害ボランティア活動の方向性 (資料 )

2005年1月15日に10年の節目の記念セレモニーを開催

思い起こすと3日間ライフラインが完全ストップ、その後、回復しだしてから何をしていたらよいか模索しているとき、障害者やお年寄りが最も支援を必要としたのではないか。我々の苦勞したこと、困ったことなど貴重な体験を全国発信して行きたい。

2) 兵庫県社会就労センター協議会: 知的障害者短期研修事業報告

週4日9:00~16:00 44名の応募 (資料 )

3) 兵庫障害者職業センター: 職業センターは殆どが国の予算で動いている。昨年、独立行政法人に移行。主要業務は9つあるが、特にジョブコーチ支援事業と事業主援助業務が今年度の重点業務。ジョブコーチは登録・協力機関型が3名増員で18名となったが、昨年度新規支援者は128名(継続含めると144名)で全国トップだが、支援して定着率はどうかということが問われるのであり、6ヵ月後の定着率75%が目標。休職者対応にかかる相談援助は精神障害者に関するものであるが、今年度、全国6都道府県が導入しているが兵庫は今年度実施しておらず、要請あれば従来の制度で対応する。(資料 )

4) 兵庫県障害者雇用促進協会: ・今年も街頭一斉キャンペーンを実施する。協力機関は中村までFAXを。(資料 -1)

- ・アビリンピック 申し込み締切り6/30 難易度は2級レベル、知的部門で金賞を取り自信が付いて就職できたという実例もある。(資料 -2)

- 5) 県能力開発課：施設内訓練は能力開発校の中での訓練。施設外訓練は委託訓練等。求職者スキルアップ事業の中の雇用対策特別訓練として障害者委託訓練国の新規所業として兵庫県も当初 60 名の予定であったが、もう少し多くという国からの要請があり、2 ヶ月の座学（集合訓練）60 名 1 ヶ月企業実習 15 名 計 75 名 県立  
1 ヶ月 パソコン訓練 80 名 国立 合計 155 名の枠を設けた。  
嘱託員が決定したが、まだ、コースが完全に決定した訳ではないので、意見・希望があれば個別に対応する。 (資料)
- 6) 県障害福祉課：インターネットショッピングモール楽天市場内に知事の発案で、3 月から「ひょうごのぬくもり SelectShop」を出店。昨年 10 月から県庁別館内に授産製品展示コーナーを開設、各県民局へも働きかけている。施設外授産の活用による就職促進モデル事業はメニュー事業化を図ることになり、施設外授産の活用による就職促進事業に名称変更となった。国は内容はまだ固まっておらず、具体的には進んでいないが、県は予算化で予定を組んでいる。知的障害短期研修事業は、雇用交付金で実施しており、交付金が切れる今後をどうして行くか検討が必要。すこやかひょうご障害者福祉プランの改定は、1 年度前倒しでプランの改定を開始。 (資料)
- 7) 精神保健福祉センター：センターが移転。連携を深めるため、こころのケアセンターと同居。就労支援関連では、県レベル・地域レベルの就労支援研修会を開催。職安との連携が深まるなどの地域も出てきた。また、組織育成として、職親会の事務局を当センターに置き、今年度は「全国社会適応訓練事業研修会兵庫大会」を 8 月に開催。ML でおって周知するので、是非とも参加を!! (資料 -1)(資料 -2)(資料 -3)
- 8) 県教育委員会：平成 16 年度 Y U ・らいふ・サポート事業 (資料)  
高等部を設置する養護学校は 41 校中 31 校。進路先は就職 21% (昨年 18.7%)、福祉施設 63%、進学 6%、在宅が 9.5%となっている。

#### 議題(3) - 2 意見交換・質疑応答

- Q：県庁での就業体験事業は県民局でもやっていただけるのでしょうかという意見を地域ネット枠会議で受けたが、県庁だけなのか？
- A：交付金で実施しており、切れた後のこともあるので……。だが、前向きに検討して行きたい。
- Q：委託訓練に関して、2 ヶ月コースのほうがゆとりがあるというように聞こえたのだが。
- A：どちらかというとも 1 ヶ月コースの方がゆとりがある。別の科目も取り入れてもいいのかなと。
- Q：精神の場合、1 ヶ月、2 ヶ月では短すぎる。もう少し柔軟に考えてもらえないか。パターン 3 として、時間を短くして期間を 6 ヶ月にするなど上手に運用を。
- A：企業実習は 1 ヶ月の時間数を減らし、期間を延ばす、要領上は可能になっている。ただし、人数は増やせない、また、金も上限ある。
- Q：特例子会社の認知は進んでいるのか？養護学校卒業生の就労も進むのでは。
- A：申請書類手続きは簡単。ぜひ利用して欲しい。
- Q：連合のボランティアに関しては福祉施設などへのアンケートをとったりしているのか？組合員の方に障害体験をしていただくような協力体制がある。
- A：現在ヒアリング中。どういう形で情報を貰ったらよいかアドバイスを貰いたいと考えている。組合員 30 万人、ピンポイントでネットワークで情報を広げたい。

#### 議題(4) その他、各種案内

資料 -1～6 参照

## 4. 閉 会